

ESR（電子スピン共鳴）を用いた材料の評価法



マスコットキャラクター テリン

日時 平成30年12月11日（火）13:15～16:30

場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（本部）
東京都江東区青海2-4-10

●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分 [朝夕無料送迎バスあり3分]
都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

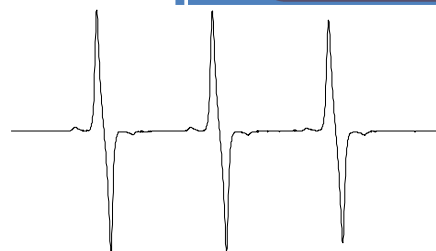
受講料 1,500円

定員

20名

ESR（電子スピン共鳴）は、ラジカルなど不対電子の存在する系において、極めて有効な測定法です。しかし、ラジカル類は不安定なため測定試料に工夫が必要な場合が多く、利用範囲が限られてきました。特に、高分子材料の熱分解で生成するラジカルの観測は、昇温可能な温度範囲が200℃以下であったため、十分な情報が得られない状況でした。この度、400℃まで昇温可能な温度可変装置が開発され、熱分解で生成するラジカルが検出可能となり、高分子材料評価に新しい可能性が開けました。

本セミナーでは、ESRを利用した高分子材料の熱劣化評価をはじめ、食品も含めた種々の材料評価について解説いたします。ESR分析が未経験の方はもちろん、経験者の方にも新しい利用方法のヒントになる事と思います。材料開発および分析に携わる多くの皆様の参加をお待ちしております。



時間	科目		
13:15～14:20	【講義】 ESRの基礎と測定例	都立産業技術研究センター バイオ応用技術G	中川清子 放射線照射効果を通して、ESRを利用した試験・研究に従事
14:25～15:25	【講義】 ESRによる高分子材料の評価（熱劣化を中心に）	JEOL RESONANCE アプリケーションG	中井由実 ESRを利用した分析・評価法の開発・研究に従事
15:30～16:30	【講義】 ESRとその応用	JEOL RESONANCE アプリケーションG	島田愛子 ESRを利用した分析・評価法の開発・研究に従事